

- 1 校 種 小学校
- 2 学 年 第5・6学年
- 3 教科等 国語科
- 4 単元名 ディベートをしよう
- 5 本時の学習（第一次の1時）
 - (1) 題 目 ディベートについて知ろう
 - (2) ねらい

ディベートの用語やルール，どんな力がつくかについて知り，ディベートのイメージをつかむ。

(3) I T教材を使う意図

小学生にとっては，やや難しく感じられるディベートの用語やルールを，パワーポイントの説明画面を使って子どもたちに知らせることで，ディベートという言語活動のイメージを，スムーズにつかませる。

(4) 使用ソフト Microsoft 社 PowerPoint 2002

(5) 展 開

学習過程	児童の学習活動	支 援	評価規準
1 ディベートについて知る	○ディベートの4つの条件，ルール，流れ，用語，配置図について知る <ul style="list-style-type: none"> ・一つの論題をめぐる，賛成側と反対側に分かれて議論する ・いろいろな用語がでてくる ・いろいろなルールがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの用語やルールを，学習の最後で整理するために，メモを取りながら聞くようにさせる 	<p>【関心・意欲・態度】 用語やルール，流れや論の内容について，メモを取りながら，聞いている (行動，ノート)</p> <p>【話すこと・聞くこと】 ディベートについて，分かったことをまとめている (ワークシート)</p>
2 実際のディベートの様子を見る	<ul style="list-style-type: none"> ・対戦は，短い時間で区切られて行われる 	<ul style="list-style-type: none"> ・流れを，画面で順序立てて示すことで，ディベートのイメージをスムーズにとらえさせる 	
3 ディベートでつく力を知る	○ディベートの流れを，画面で見る <ul style="list-style-type: none"> ・司会，判定，タイムキーパーがいる ・賛成側立論→反対側立論→作戦タイム→反対側質問→賛成側質問→作戦タイム→反対側最終弁論→賛成側最終弁論審査→判定 と進む 	<ul style="list-style-type: none"> ・賛成側，反対側それぞれの，立論，質問，最終弁論を実際に音声で聞くことによって，イメージを持たせる ・どんな力がつくかを知らせ，学習への意欲とめあてを持たせる 	
4 学習のまとめをする	○ディベートで，どんな力がつくのかを知る <ul style="list-style-type: none"> ・話の組み立てを工夫して，自分の考えをはっきり伝える力 ・話す人の伝えたいことは何か 		

	<p>を考 えながら聞く力</p> <p>○ディベートについて、分かった ことをまとめる</p>		
--	--	--	--